

38 動物たちとの出会いの場をつくり、活用する動物たちを観察する。 エンカウンスペースで観察しよう

エンカウンスペースとは「野生動物たちとの出会いの場」のことで、人為的にしかけるものをいいます。エンカウンスペースは、動物の習性をよく知ることから始まり、その習性をうまく利用して動物を近くに呼び寄せ、観察できるようにする、優れたしかけです。単なる餌付けではないことを意識しましょう。



ねらい _____

私たちが動物に関わる際には、どういふことに注意しなければいけないか、自ら考えることができるようになる。

達成目標 _____

- ・エンカウンスペースを計画し、造る。
- ・エンカウンスペースを利用する生きものたちについて、観察し、とりまとめることができるようになる。
- ・私たちの生きものとの関わり方について、自分の意見を持てるようになる。
- ・スペースを活用した動物たちの習性について説明できる。



導入 _____

エンカウンスペースの事例を紹介する。動物たちのどんな習性を使っているのか、何のために実施するのかをよく考える。

本体 _____

作業や工作をして、エンカウンスペースを造る。エンカウンスペースを利用する動物を観察する。

ふりかえり・わかちあい _____

エンカウンスペースを造り、観察したことについて、それぞれが一番印象深く思ったことについて紹介しよう。

まとめ _____

エンカウンスペースを造ることについてのメリット、デメリット（自然界に与える悪影響）について話し合う。

実施のポイント

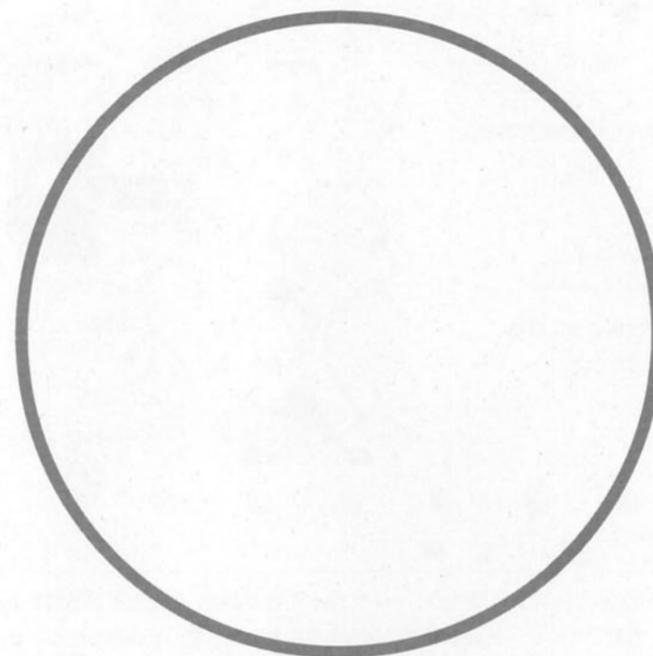
エンカウンスペースを造ればいい、というものではない。何のためにこの作業をするのか、ということ、自然への影響について常に意識しているようにしたい。

- ◆所要時間 8時間程度
- ◆人数 10~40人
- ◆関連教科等 総合的な学習の時間、理科、図画工作
- ◆焦点を当てる能力 計画する、作成する、観察する、洞察する
- ◆準備するもの 作業の道具、ワークシート、材料一式（計画して決める）
- ◆安全のポイント 工作をするときの怪我に注意するようはたらきかける

- 評価の視点
- 一連の活動に積極的に関わり、動物の習性を知ること、工作のスキル、自然への影響などのどこかに対して自分の意見を持ち、話し合いに参加できることを大切にしたい。
- 発展・応用
- エンカウンスペースを造る前に、生物相について調べておき、エンカウンスペースを造ることで生物相の変化がみられるかどうかを比べてみるとよい。生物が多様になるようなしかけを造ることを「エコアップ」という。エコアップという切り口で同じ活動をしてよい。
- 参考文献
- 「庭に鳥を呼ぶ本」藤本 和典 著
 - 「昆虫ナビずかん かならずみつかる！」川上 洋一 著
- オリジナル/自然教育研究センター

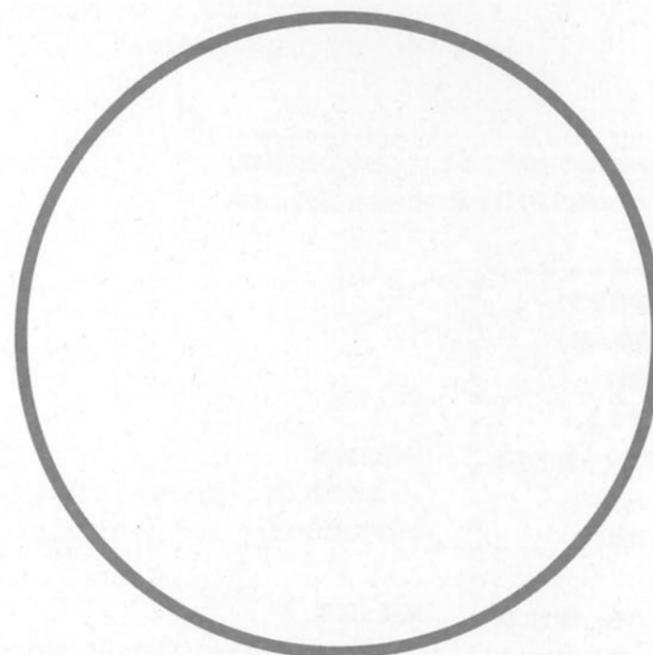
エンカウンスペースで観察しよう 38

◆ つくったエンカウンスペース



◆ 利用した生きもの

◆ つくったエンカウンスペース



◆ 利用した生きもの

年 月 日 名前

自然とつきあう技術

自然とつきあう技術